



セレッソ大阪U-12



【韓国遠征】

慶州国際少年サッカー大会

2016年8月26日（金）～31日（水）





【目 的】

- ①海外遠征をすることで、世界を視野に入れ
将来大きく羽ばたける人間を目指す
- ②日々のトレーニング成果を発揮する
- ③海外チームとの対戦を経験することで、
より高いレベル追求し更なる成長を目指す
- ④異国の人や文化に触れる



【参加者】

【スタッフ 4名】

団 長：砂金 哲之 トレーナー：鎌苅 翔平
監 督：鳥居塚 伸人 コーチ：齋藤 竜

【選手 16名】 ※6年生（7名）・5年生（9名）

6年：	柴田将伍	満永拓実	児島亜流	森本聖希
	古住公穂	菅江陸斗	昌山豪	
5年：	宮井海翔	河西祐哉	堀井拓磨	渡辺皐 皿良立輝
	大谷元輝	足立康生	鈴木聡太	三津井龍真



【大会概要】

大会：2016慶州国際少年サッカー大会

期間：2016年8月26日（金）～31日（水）

場所：韓国 慶州市

主催：韓国少年サッカー協会、慶州市

主観：韓国少年サッカー協会
慶州市サッカー協会



【チーム構成】

- 単一チームとして全20名で構成
※選手16名、コーチ2名、関係者2名
- 2004年1月1日以降生まれの選手で構成





【宿泊先】

ホテル：グランドリゾート慶州



食事会場



食事風景



ホテルロビー



【参加国】

日本、韓国、スペイン、ブラジル、フランス
スロバキア、ニュージーランド、中国、タイ
オーストラリア、ベトナム

※全11カ国＝20チーム参加



AKFF（オーストラリア）



Santos FC（ブラジル）



【予選ラウンド＜参加チーム一覧＞】

グループA	グループB	グループC	グループD
HWARANG (韓国)	WYNRS (ニュージーランド)	セレッソ大阪 (日本)	XIAN CITY (中国)
CELTA VIGO (スペイン)	奈良市選抜 (日本)	LUNENG (中国)	VERSAILLES (フランス)
八尾大正FC (日本)	CODION UTD (中国)	BCC (タイ)	ダイナモ川越東 (日本)
一宮FC (日本)	ファナティコス (日本)	NITRA FC (スロバキア)	SONTOS FC (ブラジル)
AKFF (オーストラリア)	SHILLA (韓国)	HUE CITY (ベトナム)	CHUNGMU (韓国)



【スケジュール】

日 付	対戦相手	国 名	キックオフ時間
27日（土）	山東魯能	中国	10:00
	HUE CITY	ベトナム	16:00
28日（日）	NITRA FC	スロバキア	10:00
	BCC FC	タイ	16:00
29日（月）	※AM＝ホテル近くの湖でランニング ・ PM＝観光		
30日（火）	準々決勝・準決勝		
31日（水）	決勝・3位決定戦		

※山東魯能＝急遽大会不参加



【試合結果】

日付		対戦相手	国名	時間	結果	得点者
27日	TM	CHUNGMU	韓国	10 : 00	0 - 2 ●	なし
	予選①	HUE CITY	ベトナム	16 : 00	7 - 0 ○	森本 2、昌山 2、渡辺、鈴木、オウンゴール
28日	予選②	NITRE FC	スロバキア	10 : 00	2 - 2 △	古住、昌山
	予選③	BCC FC	タイ	16 : 00	0 - 3 ●	なし
30日	TM	ダイナモ川越東	日本	11 : 00	4 - 1 ○	児島 2、菅江、大谷
	TM	八尾大正	日本	16 : 00	0 - 1 ●	なし

※予選リーグ = 1 勝 1 敗 1 分 (3 位)

※TOTAL 6 戦 = 2 勝 1 分 3 敗 (1 1 得点 9 失点)





【試合結果】

『予選リーグ』

- **1 試合目** 10：00キックオフ
vs HUE CITY (ベトナム) ○ 7 - 0 (4 - 0)
得点者：森本 2、昌山 2、渡辺、鈴木、オウンゴール
- **2 試合目** 16：00キックオフ
vs NITRE FC (スロバキア) △ 2 - 2 (0 - 1)
得点者：古住、昌山
- **3 試合目** 16：00キックオフ
vs BCC (タイ) ● 0 - 3 (0 - 1)
得点者：なし

※ 1 勝 1 敗 1 分 = 予選 3 位



【試合結果】

『フレンドリーマッチ』

TM① 10：00キックオフ（27日）

vs CHUNGMU（韓国）

得点者：なし

● 0 - 2（0 - 1）

TM② 11：00キックオフ（30日）

vs ダイナモ川越東（日本）

得点者：児島2、菅江、大谷

○ 4 - 1（0 - 0）

TM③ 16：00キックオフ（30日）

vs 八尾大正（日本）

得点者：なし

● 0 - 1（0 - 0）



【成 果】

- 現在の立ち位置を知り、今後の目標を選手が感じれた。
- プレッシャーの中でのスキルの発揮レベルアップ。
- アプローチの距離感、球際の強さを体験できた。
- 日本と違う環境で生活し、今後の目標を明確にできた。



【課 題】

《オンザピッチ》

- 個人スキルのレベルアップ（止める、蹴る、運ぶの徹底）
- プレッシャーの中での判断スピード & クオリティ
※特に運ぶにおける判断のレベルアップが必要
- アプローチの間合い、球際の強さ

《オフザピッチ》

- 私生活の中から自らが判断して行動する
- 食事、休養の重要さの再確認する
- 感謝の気持ちを常に持ち行動する



【総括】

普段とは違う環境で試合や生活を出来た事は選手、スタッフともに良い経験となった。

- ジュニアとして4年ぶりの海外遠征
- 選手自身が基準を明確にできた（日本との違いを体験）
- 高さ・強さ・速さへの対応
- オフザピッチの重要性（生活習慣や食事）
- 周りで支えてくれている人への感謝の気持ちを持ち続ける
- この遠征を通して少しではあるが成長が見られた
- 世界で活躍する為に更なる成長と取り組み